



【基本理念】私たちは命と健康に向き合うことを医療の原点とします。

長岡赤十字病院

長岡市千秋 2 丁目 297-1
 電話 0258-28-3600
 ホームページアドレス
<http://www.nagaoka.jrc.or.jp/>

外国人の方々にも安心して医療を受けていただくために JMIP 認証を更新しました

グローバル委員会 委員長 谷 達夫

みなさんは JMIP (ジェイミップ) をご存じでしょうか。

JMIP とは外国人患者受入れ医療機関認証制度 (Japan Medical Service Accreditation for International Patients) の略で、訪日あるいは在留の外国人の方々安心して医療サービスを受けられる体制を整えている施設として、第三者 (一般社団法人 日本医療教育財団) に中立・公平な立場で評価してもらい認証を得る制度です。国の事業の一環として厚生労働省が平成 23 年度に実施した「外国人患者受入れ医療機関認証制度整備のための支援事業」を基盤に策定されました。ホームページによると令和の 4 年 12 月時点で認証を得ているのは全国で 74 病院、新潟県内では当院のみです。当院は 2019 年に初めて認証を取得し、2022 年 8 月に更新のための審査を受け、11 月に認証を取得することができました (図 1)。

当院が『外国人の方々安心して・安全に医療を受けられる医療機関』として整えている体制について、いくつかご紹介します。

●言葉の壁を取り除く、あるいは低くする

当院には「外国人患者医療コーディネーター」2 名が在籍しているほか、MERU (メル) という言語支援チームや翻訳機の設置により、日本語以外を使う患者さんに対応しています。

●書類

問診票や入院申込書など診療に必要な書類は、英語と中国語が併記されているものを準備しています。

●ホームページ

ホームページにも英語版と中国語版を整備しています。

●院内表示

院内の表示板やゴミ箱には日本語の他に英語や中国語、絵 (ピクトグラム) を入れることで、外国人の方々だけでなく多くの方に容易にわかっているように表示しています (図 2・3)。

訪日客は新型コロナウイルス感染症の世界的流行 (パンデミック) の影響でこの 2 年あまり減少していましたが、国の水際対策緩和に伴い現在は増加傾向です。また、長岡市人口 26 万人の 0.9%、約 2,400 人は外国人の方々です。外国人の方々安心して医療を受けられる体制を構築することは、地域の基幹病院である当院の役割のひとつであるとともに、認証審査を機として体制の不備・不足を洗い出し改善することで、外国の方々のみならず全ての患者さんが快適に医療を受けていただける病院に一步近づけたのではないかと思います。これからも安心できる医療の提供に努めてまいります。



(図 1) JMIP 認定証



(図 2) 院内に設置されているゴミ箱



(図 3) ピクトグラム・英語・中国語が表記された表示板

『かかりつけ医紹介窓口』を開設しました



当院では、症状が落ち着いている患者さんに、身近なかかりつけ医をおもちいただくようお願いしています。どこの医療機関にかかればいいかわからない場合は、『かかりつけ医紹介窓口』にてお手伝いをさせていただきます。

窓口の利用方法

- 窓口利用は予約制です/
診察の際、主治医に窓口利用の希望をお申し出ください
- 開設日時/
月～金曜日(午前)8:30～12:30(午後)1:30～5:00
- 場所/地域連携・患者サポートセンター



すてきな作品をありがとうございました!



疫病を鎮めるアマビエや医師、看護師を描いた大型パネル（高さ約 2.5m×幅約 3m）を、新町小学校の児童のみなさんが地域の方々とともに制作し、展示してくださいました。当院での展示は昨年引き続き 2 回目となりました。

展示期間は終了してしまいましたが、目にする度に職員は元気をいただくことができました。

新町放課後子ども教室のみなさん、ありがとうございました!



患者会からのお知らせ

がん患者サロン「ほほえみサロン千秋」
毎月第一金曜日 14:00～15:30

感染対策に注意しながら開催しています。ただし、コロナウイルス感染の状況によっては中止となりますので、がん相談支援センターにお問合せください。

詳しくは当院ホームページのお知らせをご覧ください。

